

取付け方法 2 で、建付調整が必要な場合に使用します。

(薄い)

(厚い)

取扱い上の注意

警告 取扱いを誤った場合、網戸が脱落し、他人に死亡または重傷を負わせる可能性があります。

- **高さ調節ねじはしっかりと締めてください。**
取付ける際は、上下の溝をサッシのレールにしっかりと合せて、上下につまんでください。
また、高さ調節ねじはコイン等できつく締めてください。締め方が弱いと、網戸が脱落する恐れがあります。
- **かかりを時々確認してください。**
ねじの緩みと、レールへのかかりを時々確認してください。
- **絶対に寄りかからないでください。**
本品を取付けた状態で、寄りかかたり強い力を与えないでください。
- **高層階(7階以上)の取付けはしないでください。**
集合住宅の場合はベランダ等のないサッシには使用しないでください。
強風や突風の影響を受ける場合があるため、7階以上には取付けしないでください。

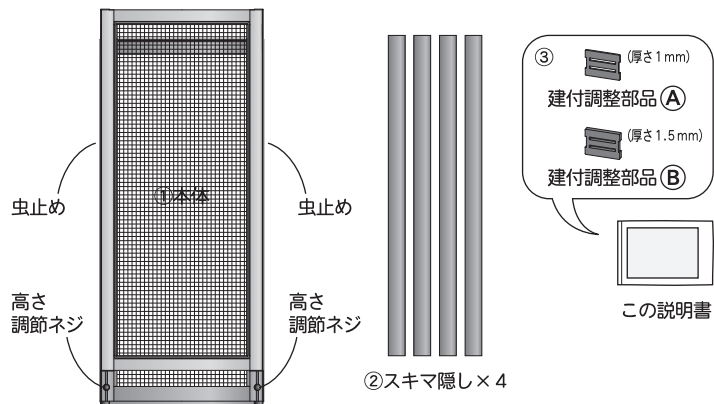


注意 取扱いを誤った場合、軽傷を負ったり、本品が故障したりする可能性があります。

- **ケガにご注意ください。**
取付けやお手入れの際は、網戸の角部等でケガをしないようご注意ください。
- **この網戸は開閉できません。**
本品はサッシにはめ込んで使用する網戸です。スムーズに開閉できるための戸車は付いていませんので、無理に動かさないでください。

中に入っているもの

※イラストはMサイズの場合です。



- 1 本体**
高さ調節ねじでスライドできます。
- 2 スキマ隠し × 4**
サッシ窓とサッシ窓とのスキマや、本体とサッシ窓とのスキマ等をふさぎます。
- 3 建付調整部品 (A/B)**
建付調整が必要なときに使用します。

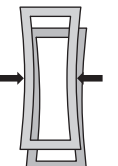
メンテナンス

● お手入れ方法

* 日常的には、乾いた雑巾やブラシで網のホコリを取り除いてください。
汚れがひどい場合には、網戸を外して最大まで伸ばし、中性洗剤を使用して雑巾や柔らかいブラシで軽く洗ってください。シンナー・ベンジン・アルコール・酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。
強く洗うと網が外れる恐れがあります。

● 網を張り替えるときは...

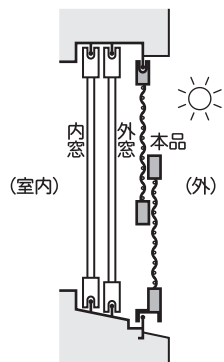
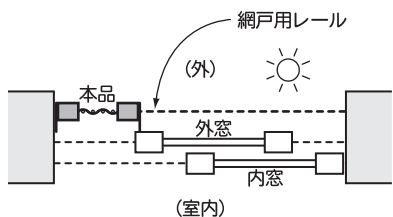
- * 市販の網・網押えゴムも使用できます。網押えゴムは、直径4.5mmのものをお選びください。
- * 網の張り替えは、2枚とも外側から張り替えられますので、本体は分解しないでください。
- * 網を張る際、あまり強く張りすぎると本体のフレームが弓なりになり、スライドできなくなることがあります(右図)。網は緩めに張るようにしてください。余分な網を切る前に、一度本体がスライドすることを確認してください。



取付け位置

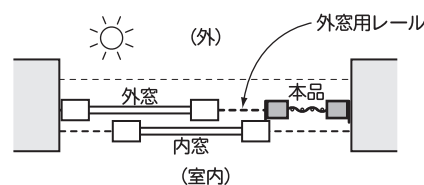
基本の取付け位置 左側(網戸用レール)

- 網戸用レールがある場合は、サッシの左側(室内側から見た場合)に取付けます。
左側に付ける場合、上下の網戸用レールを使用して取付けます。

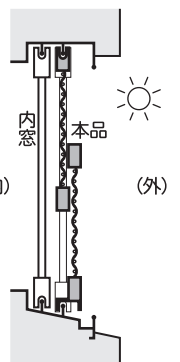


網戸レールがない場合 右側(外窓用レール)

- 網戸用レールがない場合は、サッシの右側(室内側から見た場合)に取付けます。
右側に付ける場合、上下の外窓用レールを使用して取付けます。



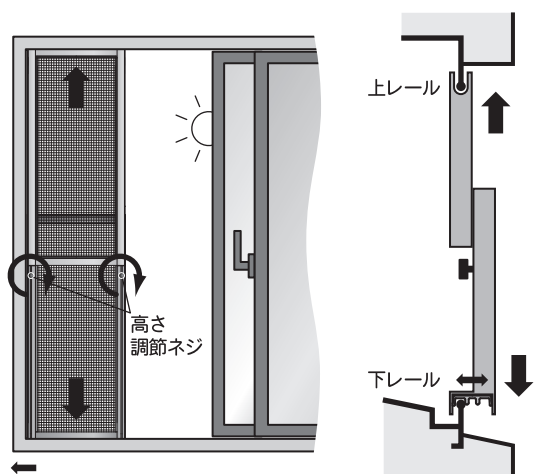
※右側に取付けるとサッシ窓(外窓)を全開にすることができなくなります。



取付け方法

1 本体の取付け

- ① 高さ調節ネジを緩めて、スライドできる状態にします。
- ② 取付け位置を参考に、本体をレールにはめ込みます。
上下の溝がレールにしっかりと合み合うように、本体を伸ばしてつまんでください。
- ③ 高さ調節ネジを締めてください。
- ④ 脱落しないことを確認し、ネジをさらにコインできつく締めてください(10kgf・cm以上)。締め方が弱いと網戸が脱落する恐れがあります。

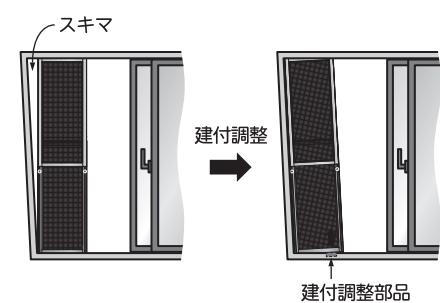


サッシ枠側はスキマができないように端に押し付けてください。

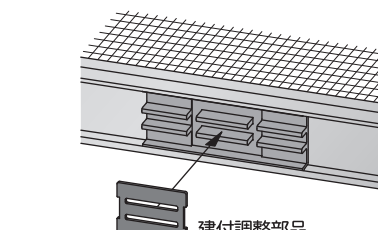
下部にはレールを受ける溝が3箇所あります。本体が垂直になる溝に入れてください。

2 (建付調整が必要な場合)

サッシ枠との間に三角のスキマがあく場合には建付調整が必要になります。



- ① 本体をいったん外してください。
- ② 底面に下レールを受ける部品が2つ付いています。
傾けたい方は逆側の部品に建付調整部品を取付けてください。
スキマが小さいときは(A)を、大きいときは(B)を使用します。

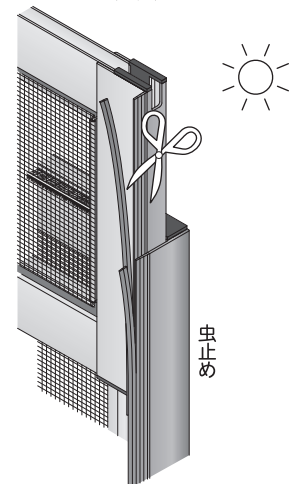
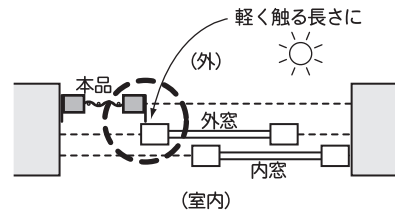


* 外すときは、先のとがったものを溝に引っ掛けて取ってください。

3 虫止めの長さ調整

窓を閉めてみて、虫止めが窓にこすりすぎる場合は、虫止めの長さ調整をしてください。

- ① 虫止めを縦の溝に沿ってハサミで切り取り、窓に軽く触る長さに調整してください。

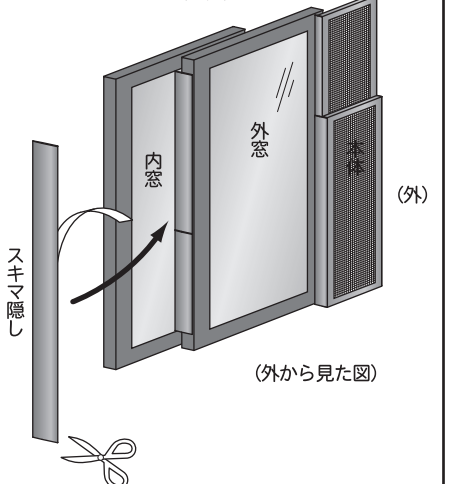
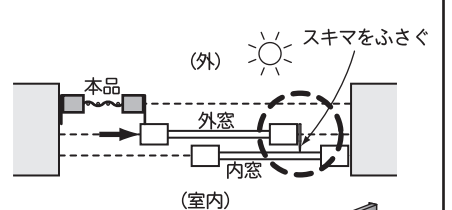


* 逆に、虫止めの長さが足りない場合には、スキマ隠しを虫止めの上から貼って長さを調整してください。

4 スキマ隠しの取付け

スキマ隠しは、窓を半開にしたときにあく、窓と窓の間のスキマをふさぐためのものです。

- ① スキマ隠しを必要長さに切ります。
- ② ハクリ紙をはがして下図の位置(外窓の側面)に貼付けてください。



* サッシの形状によりスキマが残ってしまう場合には、余ったスキマ隠しや市販のスキマふさぎスポンジテープ等でふさいでください。